

## 2. コミュニケーション能力

1.相手の個人的、社会的、文化的背景を踏まえて傾聴し、相互の立場を尊重しながらコミュニケーションを図ることができる。

A クリニカル  
クラークシップ  
(CC) 選択クリニカル  
クラークシップ  
(CC)

B 基本臨床実習 医学実地演習Ⅲ 医学入門)ユニ  
ット③医学入門 医学実地演習Ⅱ 医学実地演習Ⅰ

C SGL(臨床科目) セミナー 医学入門)ユニ  
ット①医学教育カ  
リキュラム総論 SGL(基礎科目) 外国語  
基礎科学)ユ  
ニット④行動  
科学Ⅱ 行動科学Ⅲ 特別プログラム  
(1年) 行動科学Ⅳ

D 臨床病態学 医学入門)ユニ  
ット②行動科学Ⅰ 医事法学 数学)ユニット②  
コンピュータ・リ  
テラシー

E 統合臨床 後期研究配属 研究配属 基礎医学総論Ⅰ)  
分子解剖学(発生・  
組織・分子細胞医  
学) 基礎科学)ユ  
ニット③英語 人文社会科学)  
ユニット①生命  
倫理学/心理学 救急と生体管理 産婦人科学 運動・感覚 小児・  
思春期医学 頭頸部・  
耳鼻咽喉科学 眼科 皮膚科学 形成・再建・再生 基礎科学)ユ  
ニット⑤福祉  
社会論 人文社会科学)  
ユニット②-1 哲  
学 精神医学 麻酔・集中管理・  
疼痛制御 生物実験 人文社会科学)  
ユニット②-2 社  
会学 循環器 消化器 呼吸器・感染・  
腫瘍・乳腺 神経・リハビリ 人文社会科学)  
ユニット②-3 法  
学 放射線医学 内分泌・代謝・  
栄養 アレルギー・  
膠原病・免疫 血液・造血器 人文社会科学)ユ  
ニット②-4 医療人  
類学/老年学 腎・泌尿器 臨床医学への  
基礎医学的ア  
プローチ 臨床医学総論

【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD:一部の科目では客観試験、論述試験の項目に加味されている。

レベルC: SGL(PBL, TBL)では観察記録(TutorおよびSP、同僚評価)で行われ、その他の科目では実習中の観察記録、提出レポートで行われる。  
ポートフォリオの活用による形成的評価を加える。

レベルB:基本臨床実習では多くの授業が方略としてシミュレーションを用いており、指導教員、SPによる評価が行われるがこれは形成的評価が主体である。  
医学実地演習では指導教員、看護師、患者による観察評価、レポートによる評価が行われ、医学入門③ではSP、同僚による形成的評価、レポート  
評価が行われる。

レベルA:クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、mini-CEX、指導責任者による口頭試問、一部360° 評価により行われる。  
新たに導入するCCポートフォリオを用いて省察の態度・習慣を教員、上級生が評価する。

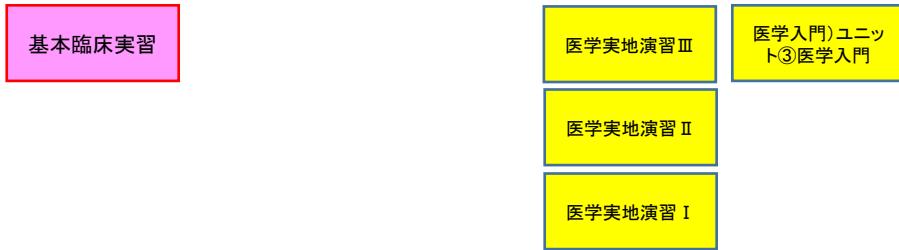
## 2. コミュニケーション能力

2.患者やその家族に支持的、共感的に接することができる。

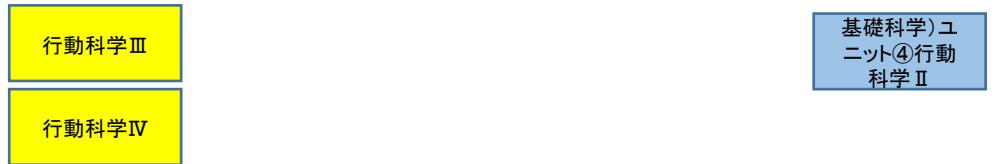
A



B



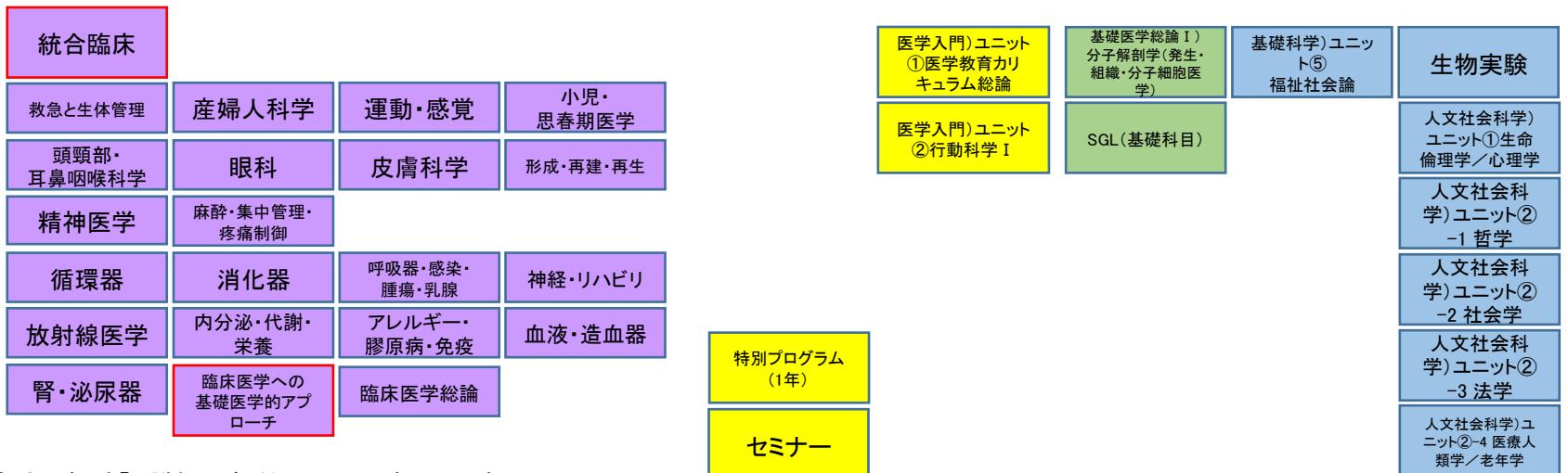
C



D



E



【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 臨床科目SGLでは課題内容の取扱い姿勢で形成的評価が行われ、一部の科目では客観試験、論述試験、レポートの評価に加味されている。

レベルC: 行動科学ⅢではTBL中にSPIによる形成的評価が行われ、その他の科目では提出レポートの中で行われる。ポートフォリオの活用による形成的評価を加える。

レベルB: 基本臨床実習でシミュレーションを用いており、指導教員、SPIによる評価が行われるがこれは形成的評価が主体である。医学実地演習では指導教員、看護師、患者による観察評価、レポートによる評価が行われ、医学入門③ではSP、同僚による形成的評価、レポート評価が行われる。

レベルA: 臨床・クラークシップにおいては指導医の観察記録、mini-CEX、指導責任者による口頭試問、一部360°評価により行われる。新たに導入するCCポートフォリオを用いて省察の態度・習慣を教員、上級生が評価する。

## 2. コミュニケーション能力

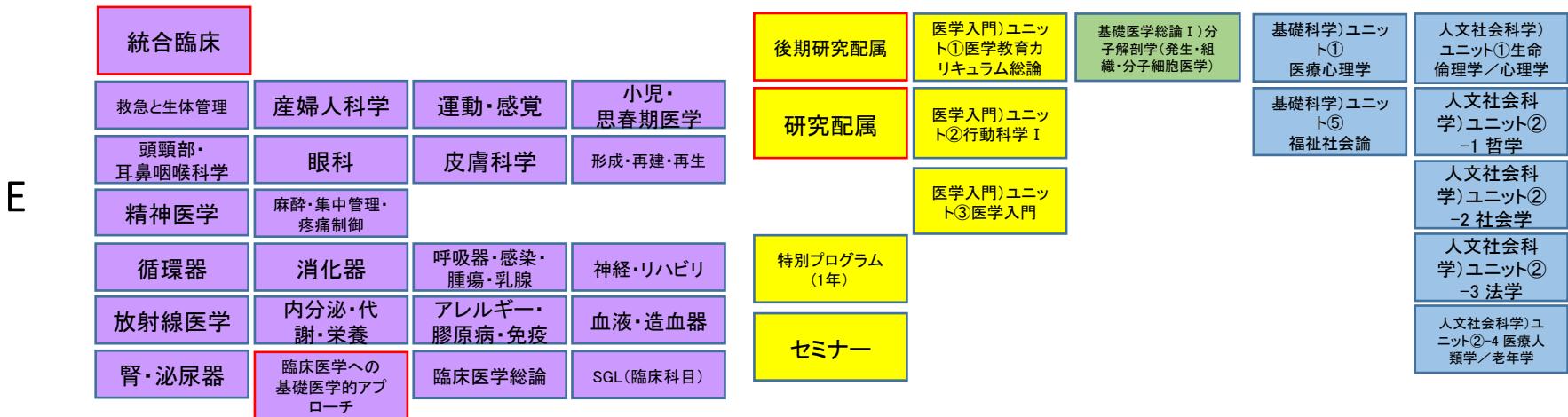
3. 医療チームの一員として、情報の収集や伝達、説明と同意、教育などの医療の基本となるコミュニケーションを実践できる。

A クリニカル  
クラークシップ  
(CC) 選択クリニカル  
クラークシップ  
(CC)

B 基本臨床実習 医学実地演習Ⅲ  
医学実地演習Ⅰ  
医学実地演習Ⅱ

C 行動科学Ⅲ SGL(基礎科目) 基礎科学)ユニット④行動科学Ⅱ  
行動科学Ⅳ

D 臨床病態学 医事法学 生物実験  
数学



【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 一部の科目では実習中の観察記録と客観試験、論述試験、レポートの評価に加味されている。

レベルC: 行動科学ⅢではTBL中にSPIによる形成的評価が行われ、その他の科目では提出レポートの中で行われる。基礎科目SGLの一部は薬学部学生との多職種連携プログラムであり、Tutorによる観察記録により評価が行われる。

レベルB: 基本臨床実習でシミュレーションを用いており、指導教員、SPIによる形成的評価が行われる。医学実地演習では指導教員、看護師、患者による観察評価、レポートによる評価が行われる。

レベルA: クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、mini-CEX、指導責任者による口頭試問、一部360°評価により行われる。新たに導入するCCポートフォリオを用いて省察の態度・習慣を教員、上級生が評価する。